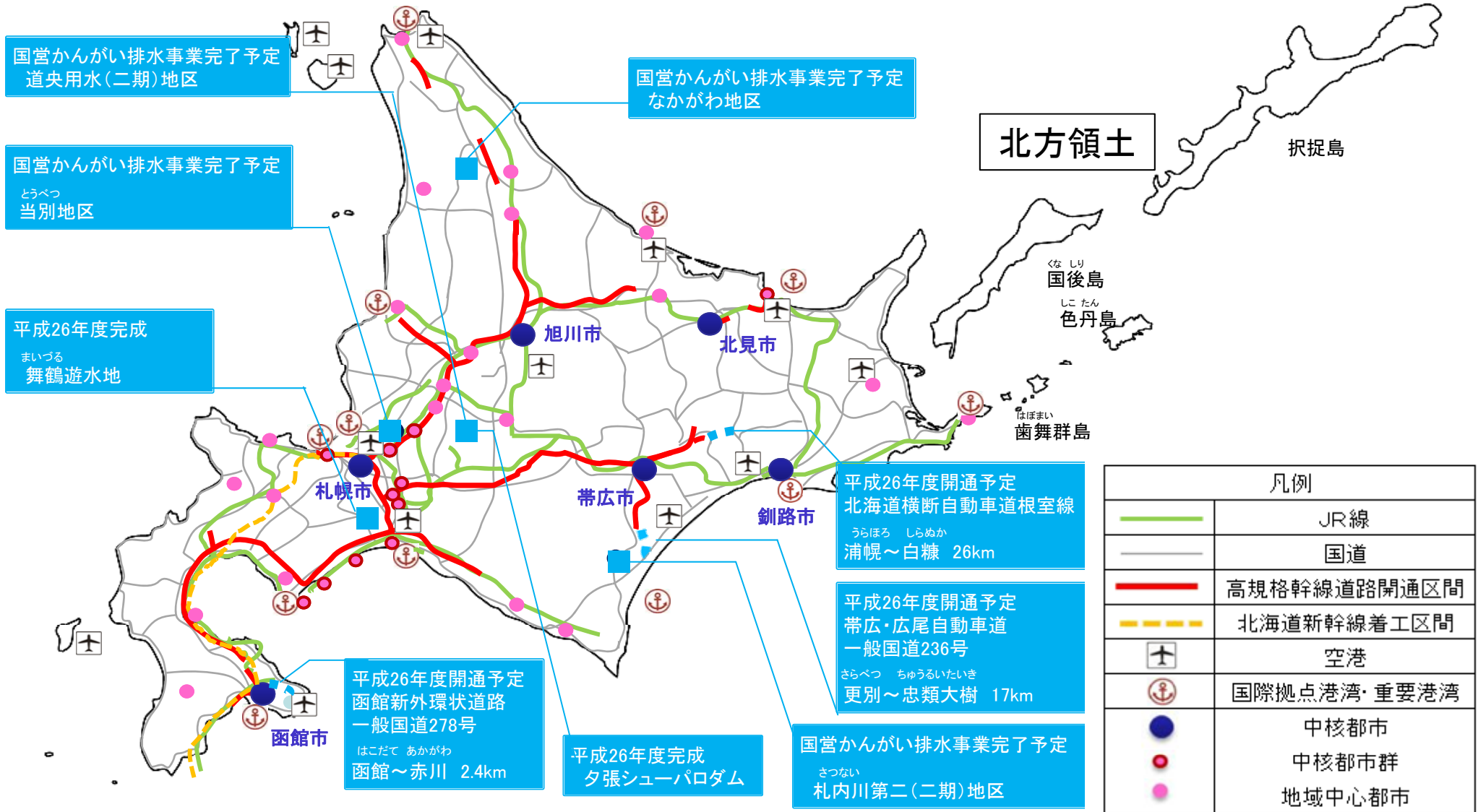
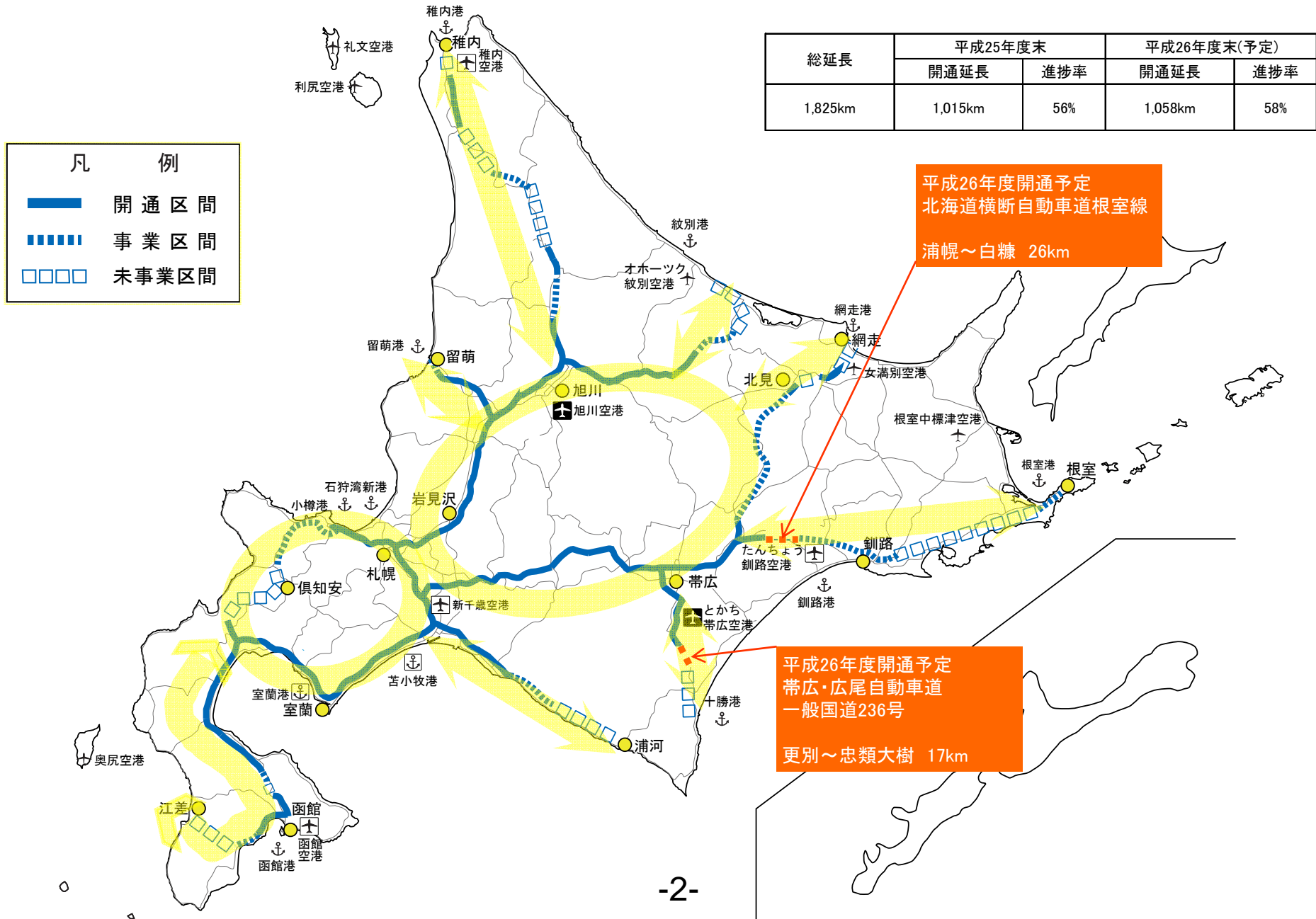


平成26年度 完了及び供用予定箇所



北海道における高規格幹線道路の整備状況



北海道横断自動車道根室線 浦幌～白糠

- 北海道横断自動車道は、黒松内町を起点とし、小樽市、夕張市、清水町、本別町等を経由して、根室市・網走市へ至る延長約694kmの高速自動車国道です。
- このうち本別～釧路は、高速ネットワークの拡充による釧路圏と道央・十勝圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び、物流効率化等の支援を目的とした、本別ICから釧路西ICに至る延長65.0kmの事業です。

事業区間の概要

[道路規格]

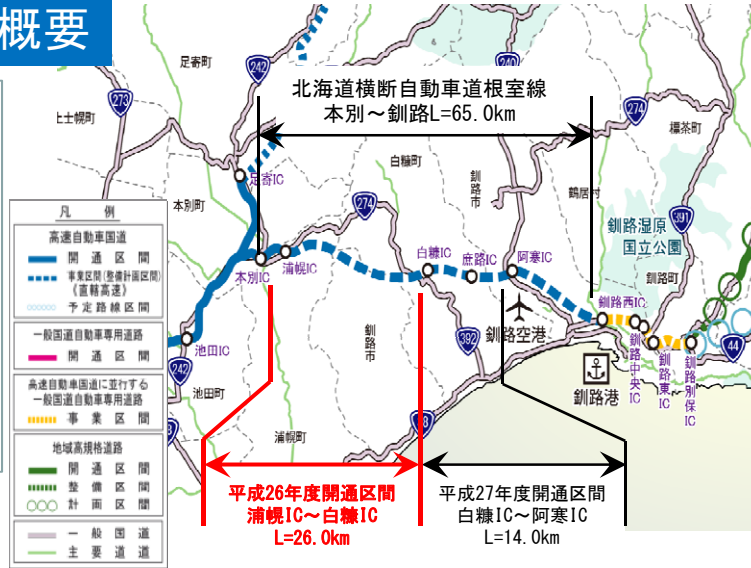
延長:L=26km

構造規格:1種2級

設計速度:100km/h

車線:2車線

[道路規格]



〈整備効果の一例〉物流効率化の支援 ～釧路・根室の産業に貢献～

■釧路・根室地域のさんま輸送

本別～釧路 L=65.0km

開通区間 L=26.0km

根室市のブランドさんま「一本立ち歯舞さんま」
H24 75,754トン

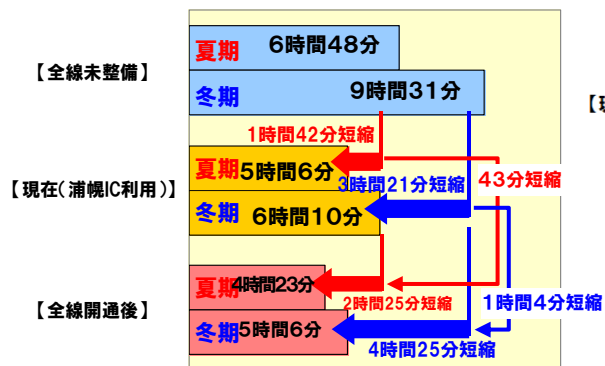
浜中町のブランドさんま「日焼りさんま」
H24 6,649トン

厚岸町のブランドさんま「大黒さんま」の品質確保に貢献

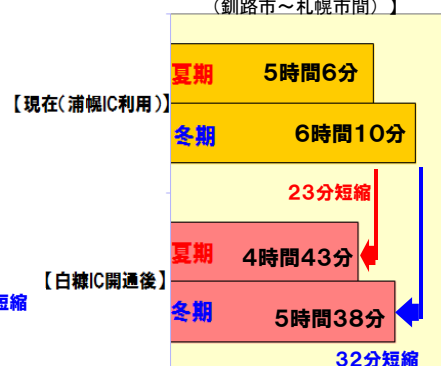
ブランドさんまの「青鱈」「青刀さんま」の品質確保や、4日以内の出荷が条件であり全道一のシェアを誇る「釧路ししゃも」のブランド化に貢献

資料:釧路開発建設部 道路台帳、北海道水産現勢 (H24年)

【釧路市～札幌市間の所要時間の変化】



【白糠IC開通による所要時間の変化 (釧路市～札幌市間)】



【厚岸町ブランドさんま(大黒さんま)の関西向け輸送の日数変化】



算出根拠:H22年道路交通センサス(夏期)、H17年道路交通センサス(冬期)

夕張スーパーダム

- ◆洪水調整、流水の正常な機能の維持、かんがい用水及び水道用水の供給、発電を目的として、利水専用の大夕張ダム(昭和36年度完成)の155m下流にそれよりも約40m高い夕張スーパーダムが平成26年度完成します。
- ◆ダム本体や貯水池周辺地山等の安全性や機能を現地にて検証することを目的とした試験湛水が平成26年3月4日に開始し、平成27年1月28日に完了しました。
- ◆湛水面積「全国第2位」、総貯水容量「全国第4位」と全国でも有数の規模の貯水池が誕生します。

○目的

【洪水調節】

基準点清幌橋での河川整備計画の目標流量2,200m³/sを1,600m³/sに低減

【かんがい】

29,010haの農地にかんがい用水を補給

【流水の正常な機能の維持】

下流の既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進

【水道用水の確保】

千歳市等7市町の水道用水として、29,600m³/日を供給

【発電】

スーパー発電所において、最大出力26,600kwの発電を実施

○工期 平成3年度～平成26年度

○総事業費 約1,700億円



試験湛水(洪水時最高水位到達の越流状況) 平成26年11月14日

【洪水調節】

ダムに流入する洪水をいったん貯め、ダム下流の川を流れる水の量を減らし、夕張市、札幌市など6市5町1村の洪水による被害を減らします。



【かんがい】

夕張川流域は、稲作を中心とした北海道有数の農業地帯です。ダムにより、干ばつに備えるとともに、農作物に必要な量の水を安定的に供給します。



【水道用水の確保】

流域市町村は札幌近郊の都市として、人口の集中、生活様式の向上に伴い水の需要が増えており、ダムにより水源を確保し、人々の安心で豊かな暮らしを支えます。

【発電】

川の力を利用して、二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギーをつくります。年間発電量82,000MWhは、2万6千世帯が1年間に使用する電力量になります。

国営かんがい排水事業 当別地区

農業農村整備事業（大切な水を有効に使う事業・当別地区）

用水改良及び排水改良を一体的に行い、土地生産性の向上、水管理の合理化、農作業の効率化を図り、農業経営の安定化、地域農業の振興に貢献します。

国営農業用水再編対策事業（地域用水機能増進型）「当別地区」
 事業工期：平成6年度～平成26年度
 関係市町村：石狩郡当別町
 受益面積：3,324ha
 主要工事：ダム1箇所（改修）、揚水機場3箇所
 幹線水路1条16.4km、支線水路29条36.5km
 排水路1条5.1km



青山ダム

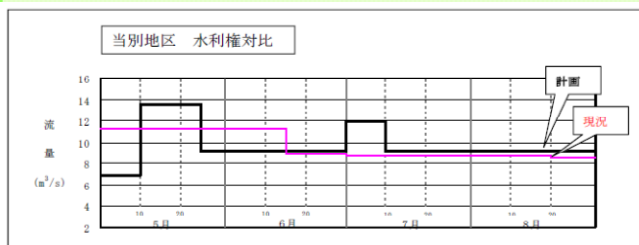


位置図

当別地区

整備前

代かき、深水かんがい等の用水が不足



○事業着手前には、代かき期間の短縮に対応できず、冷害防止を図る深水かんがい用水も不足していました。

農業水利施設の老朽化による維持管理費の増大



前傾したダム洪水吐の導流壁



老朽化した側壁の崩壊

○水源である青山ダムの洪水吐は、老朽化により機能低下が生じていました。
 ○また、用水の反復利用を行う施設が多いことから、水管理に苦慮しており、農業水利施設の老朽化により維持管理に多大な費用を要していました。

たん水被害・過湿被害の発生



法面崩壊、土砂の堆積による河床高、断面狭小



○地区内の基線排水路は、排水量の増加や機能低下により、降雨時及び融雪時にはたん水被害及び過湿被害が生じていました。

整備後

農業水利施設の整備による生産性の高い農業の実現



○新規水源を当別ダムに求めることにより、必要水量を確保しました。
 ○また、用水施設、排水路の整備によって、用水の安定的な通水が可能となり、生産性の高い営農が行われています。

農業水利施設の改修による維持管理費の軽減



ダム洪水吐（整備後）



当別幹線水路（整備後）

○農業水利施設（用排水施設）の整備が進み、水管理の合理化が図られ、揚水機、用水路の維持補修、管理労力等が軽減されています。

排水路整備によるたん水被害の防止



基線排水路（整備後）

○排水路は、平成13年度までに整備を完了し、完了後、この受益地域は、たん水等の被害は生じていません。